

	中学生が「若者の投票率の向上」などのテーマで政策を提言！ ～「練馬子ども議会」を開催～
と き	8月1日(月) 午後2時～3時
と ころ	練馬区役所西庁舎 議場(豊玉北6-12-1)
<p>区は、1日、区内の中学校の代表生徒40名が子ども議員として参加する「練馬子ども議会」を練馬区議会議場(豊玉北6-12-1)で開催した。</p> <p>子ども議員は、10人ずつの4グループに分かれ、今年は、「若者の投票率の向上」「文化芸術活動の発展」「東京オリンピック・パラリンピックに向けてのおもてなし」「読書活動の充実」についての政策を提言し、前川耀男区長が講評を行った。</p> <p>政策提言を迎えるまでに、子ども議員は、学習会を4回実施。期日前投票所の見学や大学生へのアンケート、担当者へのインタビューなど、各地域で調査を行い、気付いた課題について討議を重ねてきた。今年の冬には、子ども議員の政策提言が、区政にどのように反映されているかを確認する予定。</p>	
 <p>政策提言の様子</p>  <p>地域調査の様子</p>	

【当日の様子など】

午後2時、子ども議員は緊張した表情で本会議場に集合した。子ども議員の中から選出された議長が開会宣言を行い、練馬子ども議会が開会。

子ども議員全員、自分が担当した政策提言文を、思いを込めて発表した。政策提言を作成するまで、7月の4日間、都知事選挙の期日前投票所の見学、武蔵大学での選挙に対するアンケート調査、野外彫刻・練馬文化センターの舞台裏見学、事業を担当する職員へのインタビューなど、各地域で調査を行い、討論を繰り返しながら政策提言をまとめた。

前川耀男区長は、子ども議員の政策提言に対して「練馬区の未来を担う皆さんが、堂々と発表する姿を大変頼もしく感じ、また、実務的な鋭い提案に感心しました。今回の経験を活かし、物事を論理的・体系的に考える習慣を養ってほしいと思います。」と講評した。

【政策提言発表の概要】

(1)若者の選挙への意識を上げるための取り組み

小中学校で段階を踏んで選挙・政治について学習する。

駅前に期日前投票所を設置し、投票しやすい環境を整備する。

(2)文化芸術の発展

学生割引や有名人とのコラボイベントで、若い人が文化芸術に触れる機会を増やす。

次世代へ文化芸術を継承する仕組みを充実する。

(3)東京オリ・パラに向けての外国人や障害者との関わり

学校での外国語学習を充実する。

パラリンピックを契機として、障害疑似体験を全校で実施するなど、障害者を理解する教育を行う。

(4)図書館をより良く利用してもらう方法

図書館のバリアフリー化や受取窓口の設置など、行きやすい環境・設備を整える。

学校図書館を電算化し充実する。

【練馬子ども議会とは】

「練馬子ども議会」は、21世紀幕開け事業の一つとして、平成13年に区内在住の小・中学生が参加して初めて行われた。中学生の視点からの質問や意見を、区が聴取する機会となっている。平成16年からは毎年開催し、14回目となる今年は、区立中学校全34校、国・私立中学校4校からの代表40人が参加した。